

## 令和4年度

### 生涯学習・社会教育関係 県の主な施策説明資料

# 目 次

1	令和4年度生涯学習・社会教育関係事業体系図	
2	令和4年度県の主な施策説明資料（生涯学習・社会教育関係）	
○	県立社会教育施設公開講座開催事業	P 2
○	県立社会教育施設関連事業 （県立図書館、川崎図書館、金沢文庫、近代美術館、歴史博物館、生命の星・地球博物館）	P 2
○	令和4年度社会教育施設展覧会スケジュール	P 3～4
○	生涯学習推進事業	P 5
○	子どもの読書活動推進支援事業	P 6
○	県立学校施設開放事業・県立学校公開講座事業	P 7
○	生涯学習指導者養成事業	P 8
○	社会教育主事等の養成事業	P 9
○	放課後子ども教室推進事業	P 10
○	地域学校協働活動推進事業運営	P 11
○	地域学校協働活動推進事業、地域未来塾推進事業	P 12
○	地域学校協働活動推進（県立学校）	P 13
○	家庭教育推進事業	P 14
○	家庭教育支援総合推進事業	P 15



## **県立社会教育施設公開講座事業**

- ◆ 県民の高度・専門的な学習ニーズに応えるため、県立社会教育施設の機能・特色を活かし、特別展・企画展に関連した講座を開催する。

## **県立社会教育施設関連事業**

### **1 県立図書館の再整備**

- ◆ 県立図書館を「価値を創造する図書館」、「魅せる図書館」として再整備を進める。

#### **【工事等の主な内容】**

- ・ 県立図書館新棟の新築工事（令和2年～4年度の3箇年で実施）
- ・ 新棟新築工事関連の調査
- ・ 県立図書館新館及び本館の改修工事に向けた実施設計

### **2 県立社会教育施設の概要**

#### **県立図書館**

- ◆ 社会・人文系ライブラリーとして社会・人文系の資料、神奈川に関する資料、視聴覚資料等を収集・整理し、皆様にご利用いただけるよう提供している。レファレンス等の各種サービスを行い、調査研究をはじめとする多様な学習ニーズをサポートする課題解決型リサーチ・ライブラリーでもある。
- ◆ 県立川崎図書館(科学・産業技術系)との密接な連携のもと、市町村図書館等への支援と連携を通じて、全県域を対象とした図書館サービスの向上を図る役割も担っている。

#### **川崎図書館**

- ◆ ものづくり情報ライブラリーとして、自然科学・工学・産業技術系の図書・雑誌を中心に、学・協会誌、会社技報、国内外の工業規格、会社史・団体史等々の資料の収集・整理、神奈川県知的所有権センター支部として特許情報の提供もしている。
- ◆ 資料の閲覧・貸出・リクエスト・レファレンス・複写等のサービス業務を行っている。

#### **金沢文庫**

- ◆ 中世の歴史博物館として、鎌倉時代の諸相を今日に伝える貴重な文化財を収集し、保管するとともに、その調査研究の成果を展示や講座などを通じて県民に公開し、生涯学習の一拠点としての役割を果たすべく活動を行っている。

#### **近代美術館**

- ◆ 県民の近・現代美術に対する知識及び教養の向上を図るため、優れた近・現代美術の企画展を開催している。

#### **歴史博物館**

- ◆ 神奈川の文化及び歴史に関する資料の収集、保管及び展示並びにこれに関する調査研究、情報提供を行い、県民の学習活動を支援する。

#### **生命の星・地球博物館**

- ◆ 地球及び生命の多様性に関する資料の収集、保管、展示、調査研究を行います。また、学習活動への支援として、講座・催し物の開催や、各種情報提供を行っている。常設展、企画展、特別展で収蔵資料を展示する。

# 神奈川県立の博物館・美術館 令和4年度展覧会スケジュール

令和4年4月時点

	金沢文庫	歴史博物館	生命の星・地球博物館
4	<p><b>3/26~5/22</b></p> <p>特別展「名品撰品一称名寺・金沢文庫の名宝への学芸員のまなざし」 金沢文庫が管理・保管する文化財の中から、歴史、仏教、絵画、彫刻、郷土資料など、それぞれの分野を担当する学芸員がテーマを設けて選んだものを集め、展示します。</p>	<p>常設展(通年)</p>	<p>常設展(通年)</p>
5	<p><b>5/27~7/24</b></p> <p>特別展「兼好法師と徒然草」 中世を代表する随筆『徒然草』にみる兼好の才知に親しみつつ、歴史史料から兼好の実像と彼の生きた時代について、関連する文化財から読み解きます。</p>	<p><b>4/29~6/26</b></p> <p>特別展「洞窟遺跡を掘るー海蝕洞窟の考古学ー」 三浦半島の海岸に点在する洞窟、そこに残された弥生時代から古墳時代の遺跡を紹介します。日本で初めて出土した古い骨「ト骨(ぼっこつ)」や、アワビの貝殻で作った謎の道具、洞窟に葬られた人の遺骨などを通して、洞窟を利用した人々に迫ります。</p>	<p><b>4/23~5/8</b></p> <p>「2021年度 子ども自然科学作品展」 夏休みの自由研究や日頃から行っている調査研究の成果など、自然科学に関する小・中学生の研究作品を展示します。毎年、数多くの力作が寄せられ、作品の一つひとつに当館の学芸員のコメントが付けられます。他の児童・生徒の皆さんの研究の参考にもなります。</p>
6	<p><b>7/29~9/11 (予定)</b></p> <p>企画展「楠山コレクション鉄道展」(仮) 鉄道開業150周年を迎えるにあたり、楠山コレクションの鉄道関係資料を展示します。金沢八景の関連として湘南電鉄、京浜急行のパンフレットや切符類、その他関係資料を展示します。</p>	<p><b>前期:7/16~8/14 後期:8/16~9/25</b></p> <p>特別展 「地図最前線一紙の地図からデジタルマップへー」 主に近現代の「紙の地図」に焦点を当て、「Homo sapiens」~地図を作り、使う人たち~の活動を紹介します。地図のかたちが紙からデジタルへと移行行く現代社会において、人と地図の歩みを考えます。</p>	<p><b>7/16~11/6</b></p> <p>特別展 「みどころ沢山! かながわの大地(仮称)」 神奈川の大地を見に行こう! 複数のプレートが複雑に位置する神奈川では、多様な地形と地質を見ることができません。本特別展では、県全体を8エリアに分けて、地形、地質、化石の見所を豊富な写真や標本で紹介。身近な足下に目を向けながら地学の世界へと誘います。</p>
7	<p>休館予定 (9/12~10/6)</p>	<p><b>10/15~12/4</b></p> <p>特別展 「源頼朝が愛した幻の大寺院 永福寺と鎌倉御家人ー荘厳される鎌倉幕府とそのひろがりー」 鎌倉の二階堂にある国指定史跡永福寺(ようふくじ)跡。源頼朝が奥州合戦で平泉藤原氏を滅ぼした際、北の都の壮麗な浄土世界を目の当たりにして建設された大寺院の跡です。永福寺とは鎌倉幕府そして鎌倉御家人にとっていかなる存在だったのか。考古・美術・文献などの豊富な資料から解き明かしていきます。</p>	<p><b>12/17~1/9</b></p> <p>「2022年度 子ども自然科学作品展」 夏休みの自由研究や日頃から行っている調査研究の成果など、自然科学に関する小・中学生の研究作品を展示します。毎年、数多くの力作が寄せられ、作品の一つひとつに当館の学芸員のコメントが付けられます。他の児童・生徒の皆さんの研究の参考にもなります。</p>
8	<p><b>10/7~11/27 (予定)</b></p> <p>特別展「運慶ー鎌倉幕府と三浦一族ー」(仮) 日本史上最も著名な仏師運慶の800年遠忌を記念し、鎌倉幕府と三浦一族の関係に着目しながら、その実績に関連作品とともに明らかにします。また、地域の歴史に対する興味を喚起し、その文化に触れるまたとない機会にしています。</p>	<p><b>12/24~1/29</b></p> <p>かながわの遺跡展 (文化遺産課共催事業) 詳細未定</p>	<p><b>2/18~5/7</b></p> <p>企画展 「超(スーパー)普通種展 ~自然史研究を支える主役たち~(仮称)」 テレビやインターネットなど、巷では珍しい、希少な生物がよく注目されています。その一方、どこにでもいて、珍しくもない「普通種」については、あまり注目されません。本展示では当館収蔵の普通種の標本と調査研究活動の実例を通して、普通種のもつ面白さや重要性を紹介します。</p>
9	<p><b>12/2~1/29 (予定)</b></p> <p>特別展「寺院法会」(仮) 称名寺に伝来した国宝「称名寺聖教・金沢文庫文書」は多彩な法会の所産ともいえる史料群です。本展では、人と物が集まり、寺院史料が生成する場としての法会という観点から、「称名寺聖教・金沢文庫文書」を読み解いていきます。</p>	<p><b>2/18~4/9</b></p> <p>特別陳列 「松平造酒助江戸在勤日記ー武士の絵日記ー」 松平造酒助(まつだいらみきのすけ)は庄内藩(現山形県鶴岡市)の上級武士で、元治元年(1864)8月より1年間江戸に在勤し、江戸市中取締の任にあたりました。造酒助はその間に50冊にも及ぶ絵日記を記し、国元の家族へ送っています。本展示は、日記と、その日記に記された造酒助の生活や、幕末江戸の様相を紹介します。</p>	
10	<p><b>2/3~3/21 (予定)</b></p> <p>特別展「称名寺の大蔵経」(仮) 重要文化財「宋版一切経」が、称名寺の「大蔵経」の中核として寺院の歴史を証するとともに、漢訳仏教圏の仏教史を伝える世界に誇るべき郷土の宝であることを紹介します。</p>		
11	<p><b>3/25~5/21 (予定)</b></p> <p>企画展「所蔵、寄託資料を活用したテーマ展」(仮) 県立金沢文庫の所蔵品、称名寺をはじめとした寄託資料を活用したテーマ展示を開催します。解説は各分野の担当学芸員が執筆します。</p>		
12			
1			
2			
3			
4			
施設情報	<p>住所 〒236-0015 横浜市金沢区金沢町142 電話 045-701-9069 アクセス 京浜急行「金沢文庫」駅東口からバスまたは徒歩12分、またはシーサイドライン「海の公園南口」駅から徒歩10分 休館日 月曜日(祝祭日は開館) 年末年始 展示替期間 休館日の詳細はホームページをご覧ください。</p>	<p>住所 〒231-0006 横浜市中区南仲通5-60 電話 045-201-0926 アクセス みなとみらい線「馬車道駅」5番出口から徒歩1分、JR根岸線「桜木町駅」新南口から徒歩5分、または市営地下鉄「関内駅」から徒歩5分 休館日 月曜日(祝祭日は開館) 年末年始 資料整理休館日 ホームページ等でご確認の上、ご来館ください。</p>	<p>住所 〒250-0031 小田原市入生田499 電話 0465-21-1515 アクセス 箱根登山鉄道「入生田(いりうだ)駅」から徒歩3分 休館日 月曜日(祝祭日は開館) 年末年始 館内整備日 燻蒸期間 8月は無休 休館日の詳細はホームページをご覧ください。</p>

# 神奈川県立の博物館・美術館 令和4年度展覧会スケジュール

令和4年4月時点

	近代美術館 葉山	近代美術館 鎌倉別館
4	<p>～4/3</p> <p><b>奥谷博—無窮へ</b></p>	<p>～4/17</p> <p><b>山口勝弘の世界:『日記』(1945-1955)に見る</b></p>
5	<p>4/16～6/12</p> <p><b>生誕100年 朝倉 摂</b> 画家・舞台美術家として活躍した朝倉摂(1922-2014)の全貌に迫る、初めての本格的な回顧展です。本展では、これまで知られていなかった前半生の日本画約40点と素描に加え、絵本原画、舞台美術の模型やデザイン画など約200点を展示し、その多彩な魅力を紹介します。</p>	<p>4/29～5/29</p> <p><b>生誕110年:松本竣介 小企画:堀江 菜—触れえないものたちへ</b></p>
6	<p>4/16～6/12</p> <p><b>コレクション展 手跡をたどる/絵画の皮膚 特集:中尾 誠</b> 川端実、田中岑、野見山暁治など近年の収集・修復作品の中から紹介します。特集として、1964年から晩年まで北鎌倉にアトリエを構え、知的で温かみのある独自の絵画世界を築いた画家・中尾誠(1937-2019)を取り上げます。</p>	<p>6/11～9/4</p> <p><b>コレクション展 これってさわれるのか?—彫刻に触れる展覧会—</b></p>
7	<p>6/25～10/10</p> <p><b>アレック・ソス Gathered Leaves(集められた落ち葉)</b></p>	<p>本展は、コレクションの中からさわれる作品を選んで展示します。形、質感、温度など、対象に触れることによって得られる新鮮な感覚を楽しんでください。なお、感染症対策などを考慮し、美術館で用意する手袋をした上で触れていただきます。</p>
8	<p>アレック・ソス Gathered Leaves(集められた落ち葉)</p> <p>アメリカの現代写真を牽引するアレック・ソス(1969-)、日本の美術館における初の個展。ミネソタ州ミネアポリスを拠点に、ドキュメンタリー・スタイルの伝統を継承しながら緻密なプロジェクトとしての旅を重ね、人々や風景を捉えた静謐で詩的な作品は、写真と現代美術の両領域で国際的に評価されています。初期から最新作までの代表的なシリーズを精選し、ソスの自選による作品(Photographs)を自作解説(Footnotes)と併せて体験することで、イメージとコンセプトの連関を探ります。</p>	<p>9/17～1/9</p> <p><b>沖 潤子</b></p>
9	<p>10/22～1/22</p> <p><b>マン・レイと女性たち</b></p>	<p>本展は、刺繍という手法を用いて独自の作品を制作する沖潤子(1963-)、美術館での初個展となります。沖は母の遺した糸をきっかけに独学で刺繍を始め、衣類やバッグなどに刺繍を施した初期から、近年は絵画や彫刻といった領域を超えた作品へと展開し、国内外で精力的に発表しています。そうした初期作品をはじめ、これまで手掛けてきた代表的な刺繍による平面作品や、本展のために生み出された新作、そしてインスタレーションを通じて、その創作の全貌をご覧ください。</p>
10	<p>10/22～1/22</p> <p><b>マン・レイと女性たち</b></p>	<p>10/22～1/22</p> <p><b>コレクション展 内藤 礼 すべて動物は、世界の内にちょうど水の中に水があるように存在している 2022</b> 内藤礼(1961-)が2009年に鎌倉館での個展で発表した《恩寵》は、当館に收藏され、鎌倉館の閉館(2016)まで平家池に臨むテラスに常設されていました。その後、葉山館の空間と自然環境に呼応するべく、作家と美術館はこの作品の展示方法について検討を重ねてきました。このたび、“世界の内にちょうど水の中に水があるように存在している”ものたちとしての個展当時の作品や新作とあわせて、7年ぶりに新しい「恩寵」の場が生まれます。葉山館での初めての展示です。</p>
11	<p>20世紀を代表する写真家マン・レイ(1890-1976)。絵画やオブジェ、映画などジャンルを超えて創作した彼は、写真という新しいメディアの可能性を追求しました。レイグラフィやソラリゼーションによる実験的な表現を生み出す一方、自らが参加したダダやシュルレアリスム運動の記録やポートレート、ファッション写真なども手がけました。彼がカメラに収めた「女性たち」に光を当ててその軌跡を追う本展では、日本におけるマン・レイの受容についても特集します。</p>	<p>1/21～4/16</p> <p><b>コレクション展 美しい本—湯川書房の書物と版画</b></p>
12	<p>2/4～4/9</p> <p><b>横尾龍彦 瞑想の彼方</b> 横尾龍彦(1928-2015)は、日本とヨーロッパを往来して活躍した画家です。聖書や神話に着想を得た幻想画により国内外での評価を確立しました。ドイツに本格的な拠点を設けた1980年以降は、ルドルフ・シュタイナー(1861-1925)や禅の思想に影響を受け、制作に瞑想を取り入れて書を書かせる抽象画へと展開しました。日本の美術館で初めての回顧展として、国内のアトリエに遺された作品を中心に横尾</p>	<p>大阪、京都で限定本を出版した湯川書房は、湯川成一(1937-2008)によって1969年に創立され、2008年の終業まで、印刷、装丁、製本にいたる意匠を凝らした本で多くの愛書家を魅了しました。版画家の岡田露愁(1949-)や柄澤齊(1950-)、染織家の望月通陽(1953-)ら気鋭の美術家と協働した独創的な書物の魅力を、近年収集されたコレクションから紹介します。あわせて、印刷を母体とする字と画の関係に注目し、柄澤齊の木口木版を展示します。</p>
1	<p>住所 葉山町一色2208-1 電話 046-875-2800 アクセス JR横須賀線「逗子駅」東口、京浜急行「逗子・葉山駅」南口から京浜急行バス「逗11、12系統(海岸回り)」乗車、「三ヶ丘・神奈川県立近代美術館前」下車 休館日 ・月曜日(祝日と振替休日は開館) ・年末年始 ・展示替期間 ※ホームページ等でご確認の上、ご来館ください。 開館時間 9:30～17:00 (入館は16:30まで)</p>	<p>住所 鎌倉市雪ノ下2-8-1 電話 0467-22-5000 アクセス JR横須賀線、江ノ島電鉄線「鎌倉駅」から徒歩15分 休館日 ・月曜日(祝日と振替休日は開館) ・年末年始 ・展示替期間 ※ホームページ等でご確認の上、ご来館ください。 開館時間 9:30～17:00 (入館は16:30まで)</p>
施設情報		

## **生涯学習推進事業**

- ◆ 県立図書館において、生涯学習に必要な最新かつ幅広い情報を総合的に県民へ提供するため、県、市町村、大学や専修・各種学校、民間教育機関等の関係機関との広域的なネットワークを構築し、インターネットを利用し、いつでも生涯学習情報の検索等が可能な生涯学習情報システム「PLANETかながわ」を運営。
- ◆ 県民の生涯にわたる学習活動を支援するための情報提供拠点として、生涯学習に関する資料（講座、催し物、資格取得、施設等の情報）の配架、学習相談員が相談に応じる「生涯学習情報コーナー」を運営するほか、生涯学習に係る各種事業を実施。

### **【事業内容等】**

#### (1) 生涯学習情報システムの運営

インターネットを利用した生涯学習情報システム「PLANETかながわ」により、県、市町村、大学や専修・各種学校、民間教育機関等が提供する講座等をはじめ、指導者、団体・グループや生涯学習施設等の様々な生涯学習情報を総合的に提供。

#### (2) 生涯学習情報コーナーの運営

##### ア 生涯学習情報の提供

生涯学習に関する図書やパンフレット、大学資料等の配架

##### イ 学習相談の実施

対面、電話、ファクシミリ、電子メールによる学習相談

#### (3) 生涯学習指導者等の研修

市町村生涯学習関係職員や社会教育主事、公民館及び類似施設職員等の研修  
(社会教育担当者コース、公民館担当者コース、読書活動実践コース)

#### (4) 学習成果の活用への支援

生涯学習情報システム「PLANETかながわ」における「指導者・人材」、「団体・グループ」情報の登録と提供

#### (5) 生涯学習ネットワークの推進

「かながわ大学生涯学習推進協議会」の運営  
・大学で学ぼう～生涯学習フェア～の開催

## 子どもの読書活動推進支援事業

- ◆ 読書活動を通じて、子どもたちが言葉を学び、表現力や創造力を高め、知性や感性を豊かにすることを促進する。

### 【事業内容等】

- (1) 神奈川県子ども読書活動推進会議の開催
  - 第1回：令和4年6月 会場：書面開催
  - 第2回：令和4年11月15日（火） 会場：県立博物館
  - 第3回：令和5年1月下旬予定 会場：県立図書館
- (2) 「第四次神奈川県子ども読書活動推進計画」の進捗状況の把握及び発信
  - ・ 「第四次神奈川県子ども読書活動推進計画」の取組状況について関係各課と連携し、情報収集を行うとともに情報発信を行う。
  - ・ 市町村の子ども読書活動の取組状況を把握し、情報提供を行う。
- (3) 生涯学習指導者研修「読書活動実践コース」の開催（県立図書館主催）
  - ・ 子どもの読書活動推進に関わる方の資質向上を図る研修を行う。
    - 第1回： 令和4年8月12日（金） 会場：かながわ県民センターホール
    - 第2回： ①令和4年8月25日（木） 会場：足柄上合同庁舎  
②令和4年8月30日（火） 会場：平塚合同庁舎  
(①、②はいずれか1日の参加)
- (4) 子ども読書活動推進フォーラムの開催（県立図書館主催）
  - ・ 子どもの読書活動推進に関わる実践例の紹介等を通して、読書活動の重要性を広く啓発する。
    - 日時：令和4年12月11日（日） 会場：県立図書館
    - 事例発表：横浜市立山内中学校（読書推進に向けた図書委員会の取り組みについて）
    - 講演：「ヤングアダルト世代の皆さんにむけて（仮題）」  
講師：古内一絵（ふるうちかずえ）氏（作家）
- (5) 子どもの読書活動推進のための各種資料の活用
  - 県作成冊子の「取組事例ガイドブック」「学校図書館ボランティアハンドブック」「かながわ子どものためのブックリスト」の活用促進を図る。



## **県立学校開放事業**

### **県立学校施設開放**

- ◆ 地域に親しまれる学校づくりを促進するため、県立学校の会議室、音楽室、美術室等の学習施設や、運動場、体育館、テニスコート、武道場等の体育施設を、地域の学習・文化・スポーツグループ等の活動の場として、県民の利用に供する。

#### **【事業内容等】**

- ・利用者 : 県内に在住、在勤又は在学の方
- ・利用できる施設 : 学習施設開放 40 校、体育施設開放 160 校
- ・利用料金 : 原則無料 (体育館等は利用時に電気代実費相当額(定額)を負担)

## **県立学校開放事業**

### **県立学校公開講座**

- ◆ 地域に親しまれる学校づくりを促進するため、県立学校において学習・文化系講座及びスポーツ教室を実施するとともに、家庭教育支援の一助とするため、親子がふれあう機会として、ものづくり体験教室を実施する。

(学習講座等の開設 25 講座、親子ものづくり体験教室の開設 10 教室)

#### **【事業内容等】**

- ・受講者 : 県内に在住、在勤又は在学の方
- ・講座内容 : 文学や歴史、語学などの文化講座のほか、ソフトボール等のスポーツ教室
- ・受講料 : 1day 講座 (2 から 4 時間程度) 500 円  
短期講座 (10 時間程度) 1,500 円  
中期講座 (20 時間程度) 2,500 円  
(高校生以下及び障害者手帳・療育手帳をお持ちの方は、受講料免除)  
※講座によっては、別途、教材費・保険料等が必要となる場合がある

## **生涯学習指導者養成事業**

- ◆ 生涯学習・社会教育関係の指導者及び助言者等を対象に、各地域の実情を踏まえながら、市町村等の生涯学習・社会教育関係者の人材育成を図るとともに、生涯学習・社会教育を巡る様々な課題に係る問題解決能力等が高められるよう、研修を実施する。
- ◆ P T A活動の目的に照らし、優良な実績をあげているP T Aを表彰する。

### **【事業内容等】**

#### (1) 生涯学習指導者研修

令和4年度は、以下の9コースを実施予定。日程等詳細は、別添「研修内容」を参照。

- ① 社会教育担当者コース（県立図書館主催）
- ② 公民館担当者コース（県立図書館主催）
- ③ 学校と地域との協働推進コース
- ④ 読書活動実践コース（県立図書館主催）
- ⑤ 放課後子ども教室等推進コース
- ⑥ 地区生涯学習指導者コース（各教育事務所主催）
- ⑦ P T A指導者コース（各教育事務所主催）
- ⑧ 県立高等学校P T A担当教員コース
- ⑨ 家庭教育支援コース

#### (2) 表彰事業等

##### ア 優良P T A神奈川県教育委員会表彰等

- ・表彰式

令和4年9月8日（木） 神奈川県庁本庁舎大会議場

- ・対象

県内の公立幼稚園及び認定こども園、公立小学校、中学校、高等学校、中等教育学校、特別支援学校のP T A

（参考）ホームページアドレス

[http://www.pref.kanagawa.jp/docs/gt2/ptahyoushou\\_r3.html](http://www.pref.kanagawa.jp/docs/gt2/ptahyoushou_r3.html)

##### イ その他

- ・P T A基本調査の実施
- ・「P T A活動のためのハンドブック」の活用に向けた周知・啓発

## 社会教育主事等の養成事業

- ◆ 社会教育法第9条の2（「都道府県及び市町村の教育委員会の事務局に、社会教育主事を置く。」）に基づき、社会教育を行う者に対し専門的・技術的な助言と指導を行う専門的職員である社会教育主事を計画的に養成する。
- ◆ また、学校と家庭、地域との連携の推進や地域の教育力向上のため、市町村立小・中学校及び県立学校の教職員を社会教育主事講習に派遣し、その資格を取得させるとともに資質の向上を図る。

### 【事業内容等】

#### (1) 社会教育主事講習受講者の推薦

国立教育政策研究所社会教育実践研究センターが実施する社会教育主事講習受講者の推薦を行う（受講料無料）。

日程 A講習 令和4年7月15日（金）～令和4年8月19日（金）  
（8月5日（金）までオンデマンド配信 及び 一部ライブ配信）  
B講習 令和5年1月13日（金）～令和5年2月17日（金）  
（2月3日（金）までオンデマンド配信 及び 一部ライブ配信）  
会場 国立教育政策研究所社会教育実践研究センター（東京・上野）

#### (2) 社会教育主事講習[A][B]事前研修会及び事後研修会の実施

##### ①事前研修会

目的 国立教育政策研究所社会教育実践研究センターが実施する社会教育主事講習の受講者に対し、県の生涯学習・社会教育施策、社会教育主事講習の概要や留意点、社会教育主事有資格者・社会教育士の役割などを事前に説明することにより、受講者が目的意識をもち、講習に参加できるようにする。

社会教育に関わる人の県域のネットワークづくりの契機とする。

日程・会場 A講習 令和4年7月8日（金）PM・藤沢合同庁舎  
B講習 令和5年1月6日（金）PM・総合教育センター\* A講習事後研修会同日  
対象 社会教育主事講習[A][B]を初めて受講する者

##### ②事後研修会

目的 国立教育政策研究所社会教育実践研究センターが実施する社会教育主事講習を修了した者に対し、社会教育主事有資格者・社会教育士としての役割を確認する。

県域の社会教育に関わる人等のネットワークづくりを推進する。

日程・会場 A講習 令和5年1月6日（金）PM・総合教育センター\* B講習事前研修会同日  
B講習 令和5年7月頃 生涯学習指導者研修「学校と地域との協働推進コース」と同日・未定  
対象 社会教育主事講習[A][B]の全ての単位を取得した者

#### (3) 社会教育主事有資格者へのフォローアップ

目的 社会教育主事有資格者等としての資質を維持することにより、学校における家庭や地域との連携推進に向け、その知識や技能を生かす。

内容 生涯学習指導者研修「社会教育担当者コース」及び「学校と地域との協働推進コース」の案内

対象 県が過去3年間（令和元年度～令和3年度）の社会教育主事講習に派遣した者

## **放課後子ども教室推進事業**

- ◆ 放課後や週末等、また早朝に学校の余裕教室等を活用して、子どもたちの安全・安心な活動拠点（居場所）として「放課後子ども教室」や「朝の子どもの居場所」を設置し、地域の方々の参画を得て、子どもたちに学習や様々な体験・交流活動の機会を定期的・継続的に実施する市町村に対し、経費の一部を助成するなどの支援をすることにより、子どもたちの社会性・自主性・創造性等の豊かな人間性を涵養するとともに、地域社会全体の教育力の向上を図り、地域の活性化や子どもが安心して暮らせる環境づくりを推進する。

### **【事業内容等】**

- (1) 市町村が実施する放課後子ども教室推進事業に対する助成

補助対象経費

地域学校協働活動推進員（地域コーディネーター）、協働活動支援員、協働活動サポーターの謝金等放課後子ども教室の設置・運営にかかる経費

負担割合

国1／3、県1／3、市町村1／3

※ 政令指定都市、中核市は、国1／3 市2／3

補助対象市町村（箇所）数（政令市・中核市を除く）

令和4年度見込み 26市町村（185箇所）

- (2) 市町村が実施する朝の子どもの居場所づくり事業に対する助成

補助対象経費

協働活動支援員の謝金等朝の子どもの居場所づくりの設置・運営にかかる経費

負担割合

国1／3、県1／3、市町村1／3

※ 政令指定都市、中核市は、国1／3、市2／3

補助対象市町村（箇所）数（政令市・中核市を除く）※（1）の内数

令和4年度見込み 1町（2箇所）※（1）の内数

## **地域学校協働活動推進事業運営**

- ◆ 県の総合的な放課後対策や地域学校協働活動のあり方を検討する推進委員会を設置するとともに、広く事業関係者の資質向上等を図る研修を実施することにより、県域内の放課後子ども教室推進事業、地域学校協働活動推進事業等の推進を図る。

### **【事業内容等】**

#### **(1) 推進委員会の設置**

推進委員会を設置、開催し、県内における放課後対策や地域協働活動の総合的なあり方や学校・家庭・地域の連携協力等についての検討・協議を行う。

推進委員会開催回数：令和4年度予定 2回

#### **(2) 放課後子ども教室等に係わる指導者等の資質向上のための研修の実施**

市町村が実施する放課後子ども教室、地域学校協働活動、地域未来塾に係わる地域学校協働活動推進員（地域コーディネーター）、協働活動支援員、協働活動サポーター等事業関係者の資質向上や情報交換・情報共有を図るための研修を実施する。

令和4年度も県内各地で放課後児童クラブ指導員等の資質向上のための研修と連携して実施する。

令和4年度研修実施予定：4回（P5参照）

#### **(3) 学校と地域との協働推進に係わる指導者等の資質向上のための研修等の実施**

「地域とともにある学校づくり」の推進に向け、協働のあり方について理解を深めるとともに、参加者同士のネットワークづくりの一助とするため、地域学校協働活動推進員（コーディネーター）、教員・行政職員、学校運営協議会委員、学校支援に関わるボランティア等を対象とした研修を実施する。

令和4年度においても、新たにコーディネーターになる方、現在コーディネーターを担っている方に対して、地域学校協働活動推進員の育成・養成に力点を置いた回を実施する。

令和4年度研修実施予定：5回

#### **(4) 地域学校協働活動推進事業市町村担当者会議**

市町村の放課後子ども教室等の事業担当者を対象に会議を開催し、補助事業の概要説明や担当者相互の情報交換の機会を設ける。

令和4年度会議開催予定：1回（7月11日（月）午後 藤沢合同庁舎）

## 地域学校協働活動推進事業

- ◆ 地域と学校が連携・協働する仕組みづくりを促進し、地域の活性化を図る「地域学校協働活動推進事業」を行う市町村に対し、経費の一部を助成する。

### 【事業内容等】

- (1) 市町村が実施する地域学校協働活動に対する助成

補助対象経費

地域学校協働活動推進員（地域コーディネーター）、協働活動支援員、協働活動サポーターの謝金等、地域学校協働活動の設置・運営にかかる経費

負担割合

国1／3、県1／3、市町村1／3

※ 政令指定都市、中核市は、国1／3 市2／3

補助対象市町村（箇所）数（政令市・中核市を除く）

令和4年度見込み 16市町（179箇所）

## 地域未来塾推進事業

- ◆ 学習支援が必要な中学生等に対して学習習慣の確立と基礎学力の定着を図る「地域未来塾推進事業」を行う市町村に対し、経費の一部を助成する。

### 【事業内容等】

- (1) 市町村が実施する地域未来塾に対する助成

補助対象経費

地域学校協働活動推進員（地域コーディネーター）、学習支援員、協働活動支援員、協働活動サポーターの謝金等、地域未来塾の設置・運営にかかる経費

負担割合

国1／3、県1／3、市町村1／3

※ 政令指定都市、中核市は、国1／3 市2／3

補助対象市町村（箇所）数（政令市・中核市を除く）

令和4年度見込み 2市町（10箇所）

## 地域学校協働活動推進事業(県立学校)

- ◆ 地域と学校が連携・協働する仕組みづくりを促進し、地域の活性化を図る「地域学校協働活動推進事業」を県立学校で実施する。

### 【事業内容等】

#### (1) 県立学校が実施する地域学校協働活動経費

地域学校協働活動推進員（地域コーディネーター）、協働活動支援員、協働活動サポーターの謝金等、地域学校協働活動の設置・運営にかかる経費

事業実施校数

令和4年度見込み 県立学校4校

#### (2) 主な取組

##### 〈愛川高等学校〉

- ・地域学校協働本部「明日楓会（あすかかい）」の自立的支援を受けて希望する生徒を対象としたインターンシップ・ボランティア事業
- ・町の教育資源を活用した、町長や町職員による特別講義、消防署員の指導による消防訓練・消防出初式への参加、部活動による地域の老人施設訪問、町内夏祭りの神輿かつき・合戦祭りへの参加、町の観光キャラクターを活用した観光PRサポート事業、高校生による小学生対象バレー教室等

##### 〈小田原城北工業高等学校〉

- ・桜井小学校PTA主催「桜井キッズフェスタ」参加
- ・地域の夏祭りや小田原市のイベント等のポスター制作等やバザーへの出展
- ・高校内定時制食堂を「城北元気の会」として地域住民に開放し、地域住民と生徒が交流する機会を提供

##### 〈あおば支援学校〉

- ・児童・生徒の地域や校内での年間を通じた地域貢献活動
- ・地域と企画・協働した行事（年2回）
- ・部活動サポーター、登下校の見守りボランティア、地域を巻き込んだの花壇整備・清掃活動
- ・保護者や地域の学びの場をコーディネート

##### 〈平塚農商高等学校〉

令和4年度より実施予定

## **家庭教育推進事業**

- ◆ 子どもの「生きる力」の基礎的な資質や能力を培う「家庭」の教育力を充実させるため、保護者等に必要な情報を提供し、家庭教育への啓発を行う。

### **【事業内容等】**

#### (1) 学習資料の発行

資料名 「家庭教育ハンドブック すこやか」 (P16 参照)

対象 県内の国・公・私立中学校、中等教育学校、特別支援学校中学部の1年生の保護者（政令市立の学校を除く）

内容 親子関係や命の大切さ、不登校への対応など、家庭教育の要点

規格・部数 A4判16 ページ程度・42,000 部

配付時期 令和5年3月

#### (2) 相談機関紹介カードの発行

- ・ 福祉子どもみらい局青少年センター、子ども教育支援課、学校支援課と共同で、子どもからの相談や保護者からの家庭教育上の悩みに応える相談窓口の一覧カードを作成。
- ・ 県内全ての国・公・私立小・中・高・特別支援学校、中等教育学校の児童・生徒を通じて家庭に配付し、相談機関でも配付。
- ・ 数量 1,000,000 部
- ・ 規格 ショップカード三ツ折サイズ
- ・ 配付時期 令和4年7月頃

#### (3) 家庭教育協力事業者連携事業

- ・ 県内の事業者の理解・協力を得て、事業者がその従業員に家庭教育の重要性を認識するよう働きかけ、又地域住民に対し家庭教育に係る支援を行うことにより、家庭の教育力の向上を図る。
- ・ 事業者との協定を締結（令和4年1月31日現在141社）
- ・ 教育委員会ホームページやポスター等による協力事業者の紹介。



## **家庭教育支援総合推進事業**

- ◆ 保護者が安心して家庭教育を行えるようにするため、身近な地域において保護者が家庭教育や子育てについて学べる学習機会を提供したり、相談対応を行うなど、家庭教育を支援する活動を実施している市町村に対し、経費の一部を補助する。

### **【事業内容】**

(1) 市町村が実施する家庭教育支援活動に対する助成

補助対象経費

研修、講座、親子参加型行事の実施経費

家庭教育支援員、地域学校協働活動推進員、協働活動サポーターの謝金 等

負担割合

国1/3、県1/3、市町村1/3

※ 政令指定都市、中核市は、国1/3 市2/3

補助対象市町村数(政令市・中核市を除く)

令和4年度見込み 4市町